

ほっとニュース

発行：特定医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

特定医療法人 一成会 理念


みんなの元気のパートナー

オーダリングシステム導入

特定医療法人一成会 理事長・木村病院院長 木村 厚

皆様、お元気でお過ごしでしょうか？

木村病院では、このほど、「オーダリングシステム」を導入し、病院の電子化（IT化）を一歩先に進めることになりました。「オーダリングシステム」とは、診療にかかわる医師の指示（オーダー）が、電子システム上で瞬時に各部署に伝達され、会計までが一連の処理として行なえるシステムです。今回導入したシステムは、近い将来、電子カルテ化を進めるための布石と考えています。



オーダリング導入に伴い、患者さんの利便性の向上・正確性のさらなる向上・スピードアップ・業務の効率化等が期待されています。一方、現在は、システムに不慣れで、多少時間がかかっているということもあると思います。

大病院や診療所では、電子カルテを含む、電子化が進んでいますが、病院の電子カルテシステムは診療所のそれと比較してはるかに大掛かりで、高額な費用負担が必要です。医療費削減の時代が続き、私たち規模の中小病院が、多大な初期投資を負担することは容易ではありません。また、いろいろな電子カルテシステムがあり、どのシステムを選べばよいか不確かである、ということもあります。本来は、患者さんの受ける利便性が大きくなる電子カルテのシステムを、厚生労働省が中心となって開発し、中小病院でも安価に導入できるようにしてもらえると、助かるのですが。

状況はどうあれ、一成会は地域の医療を担い、地域の皆様の「元気」を支えられるよう、着実に業務の改善を続けていきたいと考えております。皆様の、ご理解とご協力を、引き続きお願い致します。

オーダーングシステムの紹介

受付



① 再来受付機

予約の方は、再来受付機(写真①)で受付できるようになります。



②

カードは写真②のように裏面に上に矢印の方向に入れてください。又、出てきたカードは隣のボックスに入れてください。

外来診察室



③

予約・受付状況が、瞬時に医師に知らされます。患者さんと一緒に画面上で検査結果を確認できるようになります。医師が出す、検査や投薬の指示は、瞬時に各部署に伝達されます。

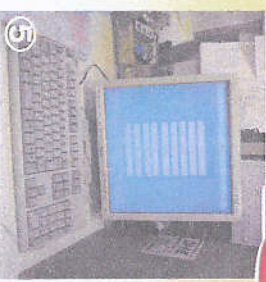
検査室



④

検査室では、医師が指示を出すと同時に検査の準備に取り掛かれるようになります。患者さんには、尿検査の用紙を持って移動して頂いています。その必要がなくなりました。

外来処置室



⑤



⑥

医師が診察室で出した指示は、瞬時に処置室に届き、患者さんの名前・検査の種類がタブレットで打ち出されるので、手間が省けミスが減り、さらに安全になりました。

薬剤科



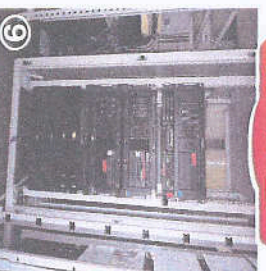
⑦



⑧

医師が出した投薬の指示は、薬剤師が確認し、自動分包機(写真⑧)に送られます。自動分包機は、130種類以上の薬を自動的に選り分けて、その患者さん用の薬のネットを作ります。

サーバー室



⑨

オーダーングシステムの「脳」に当たる部分です。サーバー室の温度管理、セキュリティ管理、バックアップにより、診療情報を守っています。

安全性の向上



⑩

予約の必要なしの診察室について、診察室で予約状況が確認できるようになったので、検査がスムーズに行なえるようになりました。将来的にはタブレットを使用、画面上で診断できるようにします。

レントゲン室



⑪

病棟のナースステーションで、外来と同じように、過去の指示や検査結果の確認、新しい指示が迅速にできるようになりました。

栄養科

入院中の患者さんの食事は、同じように見えても、病状・治療内容やアレルギーにより、100種類以上に異なります。その細かい違いが、医師の指示に基づき、的確かつ迅速に伝わります。



病院の電子化(IT化)

病院や診療所の情報の電子化が進んでいます。最初は、医療者の請求にかかわる情報の電子化で、15年くらい前から、医事コンピュータが導入され、患者さんへの診療費の請求と、保険への診療費の請求ができるようになりました。次は医療情報そのものの電子化で、主に「オーダーング」と「電子カルテ」があります。病院は、医師の診断と指示に基づいて、各部署がその指示を受けて動く仕組みになっています。「オーダーング」というのは、検査や投薬などの医師の指示(オーダー)を、パソコンで行なうと、関連の部署にその指示が同時に伝達され、さらに、支払い金額請求までの処理が一括して行なわれるシステムです。電子カルテは、オーダーングの機能に加えて、カルテの記入や管理までを、パソコンで行なうシステムです。病院や診療所の、医療情報の電子化は、どういった意味を持っているのでしょうか。電子化によって、次のような効果があると言われています。①正確性のさらなる確保 ②処理速度の短縮 ③業務の効率化 ④職員の負担軽減 ⑤診療の標準化 ⑥診療情報の共有化 ⑦これらを総合した患者さんの利便性の向上。

オーダーングでは、検査や投薬など、パソコンで医師の指示がなされるため、カルテの記入漏れや請求時の誤脱等がなくなります。また、毎回同じような作業はパソコンで前と同じ指示を叩くだけで済むなど、医師の業務も時間が短縮します。また、検査や投薬など、医師の指示は、瞬時に各部署に伝達されるため、各部署は診察室で医師が指示すると同時に、準備作業に入ることができ、これも、時間短縮につながります。操作に慣れると、職員の仕事は軽減します。さらに、システム導入時に、各部署に入り組んだ業務を見直して業務改善することで、効率化が図られます。将来、医療の電子化がさらに進むと、医師による診療のばらつきが減って医療が標準化されることで、より適切で効果的な医療の実現が期待されています。また、個人情報等の問題をクリアして、電子化された患者さんの診療情報が、インターネットを通じて医療機関の間で共有できるようになるかもしれません。そうなれば、見知らぬ場所で倒れたような場合でも、既往症などの医療情報が迅速に伝達されて、すばやく処置が行なわれ、多くの人の命が救われるということも考えられます。

荒川検診を受けましょう

荒川区健康診査 **無料** 受付中

2010年7月1日(木)～11月30日(火)

健康管理は過去の検査数値との比較が大切です。
 当院では、みなさんの検査数値を大切に保管し、今回の検査数値と比較し、診断・アドバイス
 することができます。

★★ ご希望により、無料で大腸がんの便潜血検査ができます
 また、人間ドックを特別割引にて一緒に受けられます

この機会に、皆様お誘い合わせの上、早めの受診をお勧めします。



荒川区から送付された **受診券 と 保険証**
 を必ずご持参ください

月～金曜日	午前	9:00～11:30
	午後	2:00～4:30
土曜日	午前	9:00～11:30

※ご不明な点は、お気軽にお電話ください

東京都医療連携手帳ができました

○ 東京都医療連携手帳とは

「東京都医療連携手帳」は、がん患者さんの5年ないし10年先までの診療計画を、一つの手帳にまとめたものです。東京都は、都内の医療機関が連携してがん治療に取り組むことができる体制整備を始めました。この手帳に書かれた、診療計画を元に、複数の医療機関が、患者さんの情報を共有して、連携して治療ができるようになります。肺がん・胃がん・肝臓がん・大腸がん・乳がんの患者さんが、手術など専門的な治療を行なった後の治療が、対象になります。

○ 手帳をお持ちの患者さんは

手帳をお持ちの患者さんは、診察や検査を受けるために病院・診療所に行くときには、必ず手帳を持参し、提示して下さい。別の病気で他の医療機関に行く場合にも、持参し、提示して頂ければ、より適切な対応につながります。

○ 木村病院で

木村病院は、がん治療連携指導医療機関となっています。
 外来受付で、「東京都医療連携手帳」をご提示ください。